

レフェリーからのお願い

2015年4月10日
コートレフェリー) 大木武彦

今年度の重点項目

1. カウントコールについて

- まず相手に聞こえる大きな声でコール
 - ・サーバーは第1サーブの前には、必ずその時のカウントをコールする。
 - ・試合開始の第1球目の前には「ラブオール」を、
ゲーム中はその時のスコアをコール（フィフティーン ラブ等）
 - ・ゲームが終わって、その次のゲームに入る第1サーブの際には、ゲームカウントをコール（ツー ゲームズ トゥー スリー等）
- カウントコールの際は必ず自分のカウントを先にコール
 - ・6－4で負けた、というのは誤り。 敗けた場合は4－6で負けたという。
- レシーバーも聞こえたら必ず返事をする。
 - ・サーバーのカウントコールとレシーバーの返事はマナーではなく、ルールに決められたこと。
- ノーアドの試合でデュースの場合に、フォーティーオールという人がいますが、ルール上フォーティーオールというカウントはない。
 - ・静岡県では審判部からのお願いで、フォーティーオールではなく、デュースとコールする。
- ゼロというのはタイブレーク以外では使わない。
 - ・ゲームカウントの際の3－0（スリーゼロ）という人が時々いる。 スリーゲームツーラブが正解
 - ・最初のポイントをフィフティという人がいます。フィフティは50であり、15ポイントですからフィフティーンが正解。

2. フットフォルトについて

- それほど厳密には言わないが、あまりひどい場合はコートの外から、レフェリーとして「フットフォルト！」とコールします。
- ジュースコートでは線を踏まないのに、アドコートでのサーブの際に踏む人が多いように思われる。
- 構えたときは線の手前で構えているが、ボールを上投げ上げた後に、1歩前へ足を出して線を踏む人が圧倒的に多い。

以上の2点につき、今年度の重点項目として、みんなで協力のうえ徹底したい。